

平成28年度 第2回加西市立図書館協議会 議事録

日 時 平成29年3月21日（火） 15:00～16:25

場 所 アスティアかさい3階 会議室

出席者 委員9名：岡本昌文、河原喜久子、山端一男、中安恵子、藤原美穂、本玉元、
小林俊広、岡章雄、大塚淑子

教委・図書館4名：高橋教育長、高井館長、伊藤館長補佐、増田主任

欠席者 岡本教徳

1. 開会 高井館長が開会を伝えた。（15:00）

2. あいさつ

会長あいさつ

- ・今年が市制50周年であるが、昭和42年に加西市の市制が始まり、その3年後の昭和45年に中央公民館に間借りをする形で加西市立図書館が発足した。その後、古坂1丁目に移り、さらに現在の図書館に移った。加西市立図書館については、新聞紙上でも取り上げられ、充実しているように思う

教育長あいさつ

- ・加西市立図書館の管理運営について説明する。
- ・加西市立図書館に関する平成29年度予算及び事業について説明を行う。

3. 議事

高井館長から、これからの議事の進行を本玉会長に依頼した。

（1）平成28年度図書館利用状況について（高井館長・増田主任説明）

委員：貸出冊数が昨年度よりやや減った原因は何か。

事務局：近隣に新しい図書館が出来たため、そちらを利用されたのではないかと。

委員：年度ごとに不明本の冊数にばらつきがあるが、原因や理由はあるのか。

事務局：主な原因としては、盗難だと思われる。

委員：多くのイベントを実施しているが、イベントを行って何か思うことはあるか。

事務局：よく来館していただけることはありがたい。利用者の方はみなさん好意的でマナーが良い。騒いだりする方には注意をするが、素直に聞いてくれる。

委員：たくさんのイベントを実施するのは、図書館スタッフが大変なのではないか。

事務局：担当を決めて、計画的に行っているので大丈夫である。

委員：学校への団体貸出はありがたい。学校に本を運んでもらえるのが、学校職員の負担軽減になり、助かる。

事務局：どんどん申し込んでいただきたい。ただ同時に同じ本の貸出を希望されると対応できない。幼稚園・保育園もどんどん申し込んでもらえれば。

(2)「加西市立図書館除籍基準」の一部改正について(伊藤館長補佐説明)

委員:「暮らしの手帖」は、なぜ永年保存しないのか。

事務局:書架の収納スペースを考慮し、他の雑誌と同様に2年で除籍することにした。ただ、地域に特化した雑誌については、永年保存としている。現実に合わせて基準を見直した。

委員:他館ではどうしているのか。

事務局:加西市は、他館に比べて雑誌の種類が多い。そのため、他館は雑誌のボリュームはそれほどでもないと思われる。また、過去の雑誌で貸出しを希望される方がいれば、他館との相互貸借で対応したい。

委員:雑誌スポンサーから寄贈いただいた雑誌も他の雑誌と同様に2年で除籍されるのか。

事務局:そのとおりである。図書館まつりでのリサイクルフェアで利用者の方にお譲りしている。

(3)「かさい・えほんの森」全国優良読書グループ表彰及び兵庫県くすのき賞受賞について(伊藤館長補佐説明)

委員:加西市には、読書グループはいくつあるのか。

事務局:図書館では「かさい・えほんの森」と「ぶらんこ」の2グループある。「ぶらんこ」は主に学校で活動されており、図書館では年2回程度、読み聞かせで協力いただいている。

委員:「ぶらんこ」も推薦してはどうか。

事務局:学校教育課と相談して検討したい。

(4)図書館管理運営について(高井館長説明)

委員:人工知能搭載人型ロボット(Pepper)を西脇市役所が導入しましたね。

事務局:西脇市内の企業が寄附をされて、市庁舎に設置されています。加西市立図書館も検討したが、図書館に置くには、騒音の点で問題があると考え、断念した。

教育長:将来的には、学校でのプログラミング教育での活用を検討している。

(5)提案事項にかかる経過報告について(増田主任説明)

(6)その他

事務局:1歳6カ月児の健診時に絵本2冊を無料配布する「すこやか絵本事業」を平成29年度よりこども未来課が始めるが、その絵本を図書館職員が推薦した。小さい頃から本に親しんでほしい。

委員:誰にも同様に読書の機会を与えてあげることも行政の責任である。読書は環境が大事である。読みたいときに絵本がそばにあることは良いことである。

委員:加西市立図書館には、いつ頃からの新聞が保存されているのか。

事務局:神戸新聞を昭和44年11月分から保存している。

委員:年配者向けの紙芝居をたくさん置いてほしい。

事務局:他館に比べて加西市立図書館はたくさん紙芝居を所蔵していると思うが、年配者向けの紙芝居は、子供向けのものに比べると販売そのものが少ないため、季節や時期的なものも少なくなる。老人会等でも要望があるため、販売されている紙芝居があれば、購入す

るように気を付けておく。

委員：新着コーナーが新しくなり、よく工夫されている。AV資料が交流センターでも返却可能になり、便利になった。

保護者の方から、乳幼児用向けの書籍の配架方法を、年齢ごとにしてほしいとの意見がある。

委員：図書館スタッフに乳幼児の年齢に応じた本を紹介してほしい。キッズコーナーに対面式の相談できる場所があればと思う。

委員：動物や冒険等ジャンル別の配架もしてほしい。

事務局：乳幼児用（0～2歳）の書籍は上足コーナーに配架しており、シリーズごとに並べている。3歳位用になると、50音順に配架している。本の紹介については、遠慮なく図書館スタッフに聞いてほしい。また、季節や行事等、タイムリーな特集を設けているので、ジャンルごとの書籍については、特集コーナーを活用してほしい。ジャンルごとに書籍を配架すると、どれくらいのジャンルを設けるとかジャンルに当てはまらない書籍が出てくるため、ジャンル別の配架は難しい。

委員：乳幼児用のおすすめ本のランキングを掲示することはできないか。

事務局：ランキングを掲示すると、その本が貸出しになると該当する本がない。という状態になってしまう。特集コーナーの本は、100冊くらい常備しているので、そちらで借りてもらうことをおすすめします。

委員：たくさんある本の中から、選ぶことは難しい。また、図書館に子供を連れて来ると、走り回って迷惑をかけるのではないか。と思い連れて来られない。との意見がある。

事務局：キッズコーナーは、他のコーナーから少し離れているので、少しくらい騒いでも大丈夫である。ぜひ、お子さんを連れて来てほしい。絵本も表紙を見せて配架しているものがあり、季節も考えているので、その中からであれば選びやすいと思う。

4. 連絡事項

5. 閉会 藤原副会長が閉会の挨拶をした。

- ・先日、加古川での催しに参加してきた。その中で文学と音楽は、表現方法は異なるが同じものである。と話されていた。加西市立図書館では、本の貸し出しだけでなく、スペースを利用したコンサートを開催し、情報発信も含めて情緒の発達を心掛けていることは、すばらしいと思った。ブックスタートは、読んでもらう子供はもちろん、読み聞かせる側の親にも幸せな時間になると思う。最近では、本ではなく、スマホで子育てをすることも聞くが、本でなければ伝わらないこともあると信じている。

(16:25終了)